

年末ご挨拶 常務取締役 木村 正義

21世紀型企业づくりに挑戦し 選ばれる企業になろう！



早いもので今年も一年が暮れようとしています。朝夕の冷え込みが厳しくなり、年の瀬を感じる今日この頃です。気象条件も厳しくなる中、現場の第一線で活躍されている職員と興伸工業の皆さん、そして協力会社の皆さんには、心より感謝申し上げます。

さて、今年の自動車業界では、日産自動車の無資格検査問題が発覚。さらに、追い打ちをかけるようにスバルでも同じ問題が発覚しました。2社合わせて150万台の車両がリコールとなり、信頼と信用を失いかねない状況となっています。たとえ、品質や安全が保たれているとしても“ルールを守っていない”ことが問題です。ルールを守らないという意識が安全や品質へのハードルを下げることになるからです。

また、神戸製鋼所のデータ改ざん問題は、日本のものづくりへの信頼を揺るがしかねない事態へ発展しています。原因の分析もされていますが、大きな要因は、社内の監視機能の欠如、管理部門の弱体、契約に定められた順守義務に対する意識の低下であると思います。

当社は今年、統合マネジメントシステムのISO9001とISO14001を2015年版に移行し認証されました。当社の外部及び内部の課題では、外部課題として発注者に選ばれるためには企業としてより高い性能が求められていること、内部課題としては、選ばれる企業になるために21世紀型企业になること、そして、21世紀型企业になるためには、職員の一人ひとりの人間力の成長が不可欠であると経営方針書付表に明記しました。皆さんがシステム方針を理解し、運用していただければ日産やスバル、神鋼のような問題は発生しないと信じております。ご安心ください。

年明けから年度末にかけて土木工事6現場、ノンフレーム工事5現場、建築工事3現場の合わせて14現場での稼働を予定しています。条件や工程の厳しい現場がほとんどです。これからの時期は冬季特有の労働災害の発生が想定されます。絶対に怪我をしない、させないという強い信念で現場を進めてください。今年度は不休災害が1件発生していますが、年度末まで無事故、無災害を目標とし、全員の力で達成しましょう。

来年は戌年。戌の干支の特徴は「勤勉で努力家」です。新しい年が皆様にとって良い年でありますよう祈念し、年末のご挨拶とさせていただきます。

安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成29年12月15日
<http://www.tonuma.com/>
第225号

平成29年度 年末年始無災害運動 (H29.12.15~H30.1.15)

わが国の労働災害は、長期的には減少傾向をたどり、平成28年は死亡者数が過去最少となりましたが、死傷者数は前年を上回りました。また平成29年上期も、死亡者数は前年同期比1.2%減となりましたが、死傷者数は同1.3%増で推移しています。一方、健康面では、メンタルヘルス対策の強化、化学物質のリスクアセスメントの実施、腰痛予防対策の充実などに対して、より適切な対応が必要となっています。

何かと慌ただしい年末年始。日ごろ行っている確認作業が不十分になったり、怠ったりすることでミスや事故が生じる可能性が高まります。平成29年度年末年始無災害運動の標語は「異常なし！ダブルチェックで念入りに、年末年始もゼロ災害」です。作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業における安全確認の徹底、保護具等の点検の実施、転倒等への注意、働く人の健康状態の確認など着実に実施し、健やかな新年を迎えましょう。

ご紹介！ 笹島知奈実さん & 片石映子さん

笹島知奈実 (ささじま ちなみ) さん



笹島さんは平成2年7月函館生まれ。北海道教育大学函館校卒業後、函館信用金庫に入庫。役員秘書や人事等を担当。11月1日戸沼岩崎建設に入社。「建設業に携わるのは初めて。日々、頭の上に？マークが出ています。早く仕事を覚え、佐々木さんのようになりたいです」と笹島さん。ご期待ください。

片石映子 (かたいし えいこ) さん



片石さんは昭和25年3月函館生まれ。北海道函館商業高校卒業。北海道中小企業家同友会函館支部で事務局員として28年勤務され定年退職。9月25日パートタイムとして入社。「同友会での学びを実践している戸沼岩崎建設で働く喜びを感じています」と片石さん。どうぞ、よろしく願いいたします。

11月18日 土木の日

毎年、当社は11月18日の『土木の日』に工事現場を訪ね、『土木の日』の意義や土木・建設業の役割、労働安全衛生の重要性を伝え実用的な粗品を渡しています。

